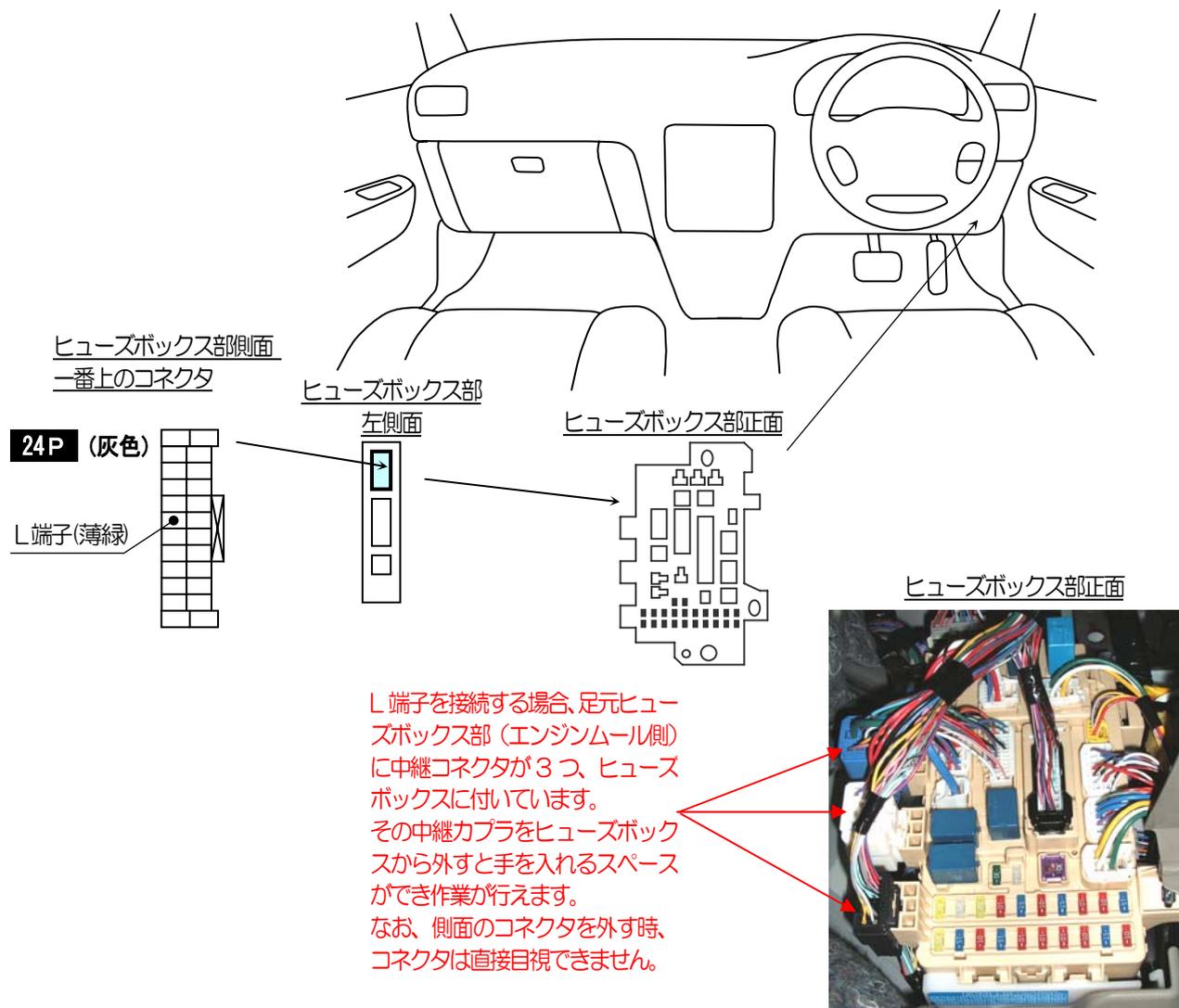


VE-Eim シリーズ専用車種別接続情報

管理 No. SK-0012 (1/7)

メーカー	スズキ	車体型式	HE22S
車種	アルト ラパン (ラパンショコラ含む)	年式	H25.6~H27.6
専用ハーネス	S-118 & SIM-001		

- VE-Eim シリーズ取り付け用の接続図です。
VE-Eim ** 以外のエンジンスターターは接続情報が異なります。
- プッシュスタート無し車は、VE-Eim シリーズのエンジンスターターは取付できません。
- ターボタイマー機能は、使用できません。
- ドアロック制御の取り付けはできません。
 エンジンスターターでのアイドル中は、純正キーレスでのロック/アンロック操作ができません。
車輦に乗車する際は、一旦リモコン操作でエンジンを停止させてください。
- エンジンスターターで始動を行うとメーター内マルチインフォメーションディスプレイに、「スタートシステム要点検」と表示が出ます。
 エンジンスターターの動作(アイドルング)を停止し、車輦本来の始動方法(プッシュスタートスイッチを押して)でエンジン始動を行うと表示は消灯します。
 乗車、走行する際は、必ずエンジンスターターを停止させ、車輦本来のエンジン始動方法で掛けなおしを行なってください。



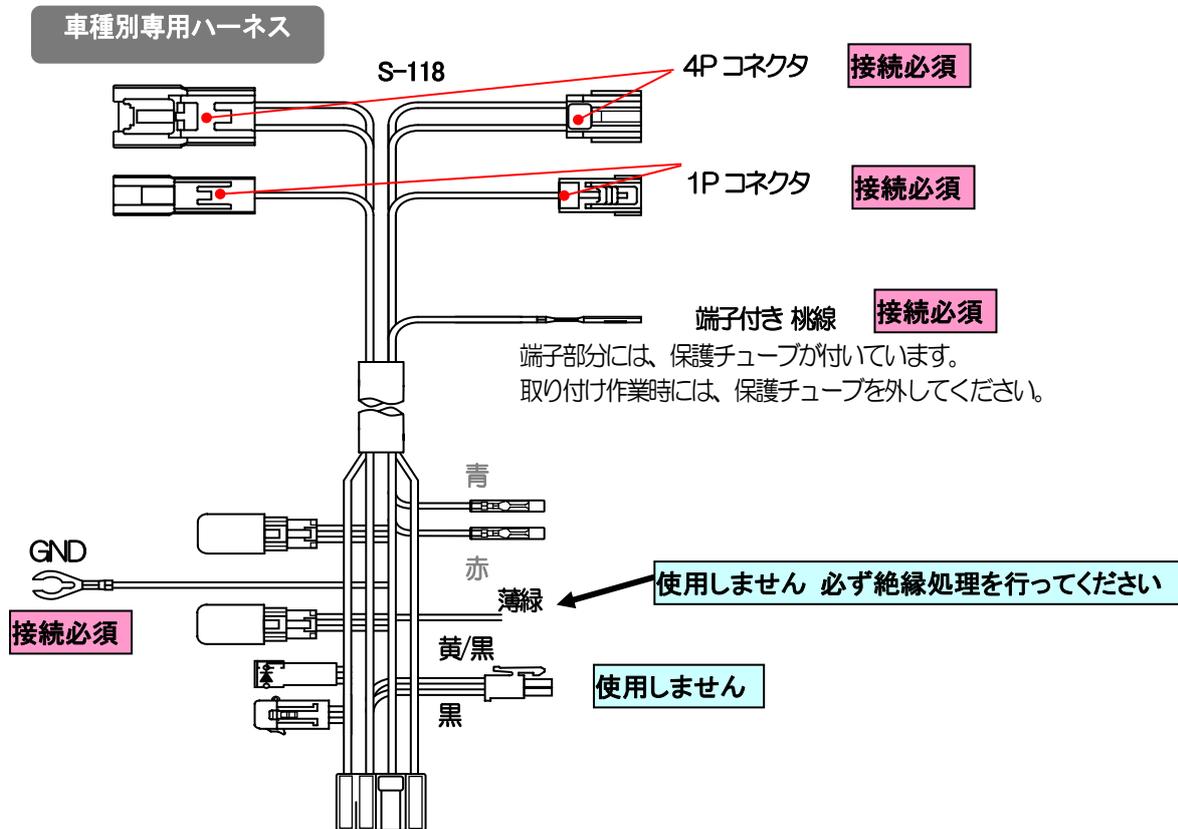
YUPITERU

Y15-0612

※ 車両によっては、上記の内容と異なる場合があります。取り付けの際は、必ず電圧などの確認を行ってください。

メーカー	スズキ	車体型式	HE22S
車種	アルトラパン	年式	H25.6~H27.6
専用ハーネス	S-118 & SIM-001		

S-118の接続



接続手順

S-118の取り付け手順 (接続先は運転席足元ヒューズボックス部内となります)

1. S-118の1Pコネクタと4Pコネクタの接続
 2. S-118の端子付き 桃色線の接続
- の順に作業を行ってください。

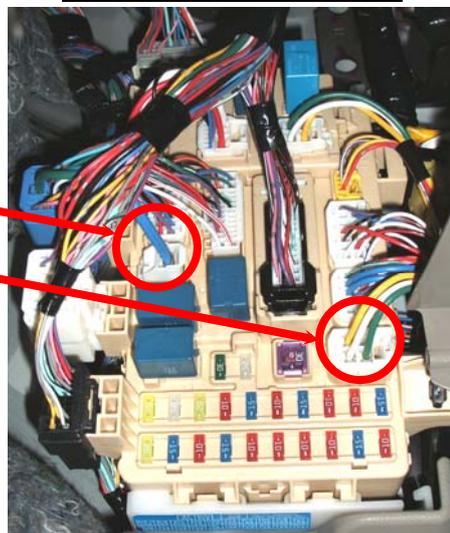
1. S-118の1Pコネクタ、4Pコネクタの接続について

S-118 1Pコネクタ接続先

S-118 4Pコネクタ接続先

S-118の1Pコネクタ、4Pコネクタは、車輻のコネクタを外し、間に割り込ませ接続します。

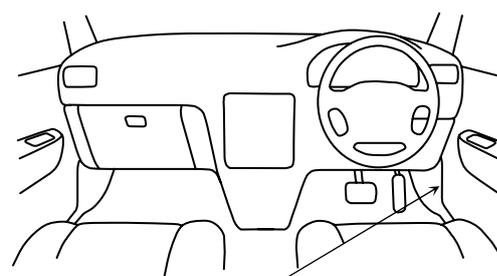
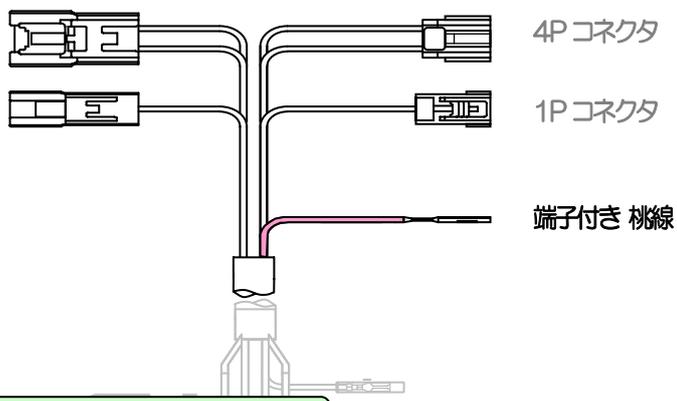
運転席足元のヒューズボックス部



メーカー	スズキ	車体型式	HE22S
車種	アルトラパン	年式	H25.6~H27.6
専用ハーネス	S-118 & SIM-001		

2. S-118の端子付き桃色線の接続について

車種別専用ハーネス



運転席足元のヒューズボックス部

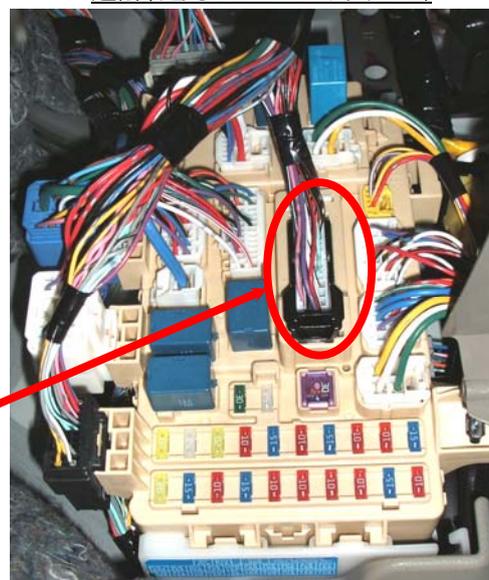
S-118 端子付き桃線の接続について

右記写真の（レバー付き）コネクタに配線を接続します。
下記の手順でコネクタに配線を差し込む準備を行います。

作業手順

- A. レバーを引き起こし、コネクタを外す
- B. レバー部分をコネクタから外す
- C. コネクタ（側面）のリテーナーを浮かす
- D. S-118の端子付き桃線をコネクタに差し込む
- E. 外した手順と逆の手順で元に戻す

S-118 端子付き桃線の接続先
（レバー付きコネクタ）

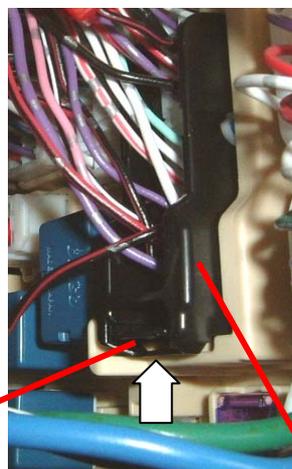


← エンジンルーム側

A. レバーを引き起こし、コネクタを外す

レバーのロックを（写真矢印の方向に）外しながら、レバーを約45度まで起こします。
コネクタをヒューズボックス部から取り外します

ロック



レバー

メーカー	スズキ	車体型式	HE22S
車種	アルトラパン	年式	H25.6~H27.6
専用ハーネス	S-118 & SIM-001		

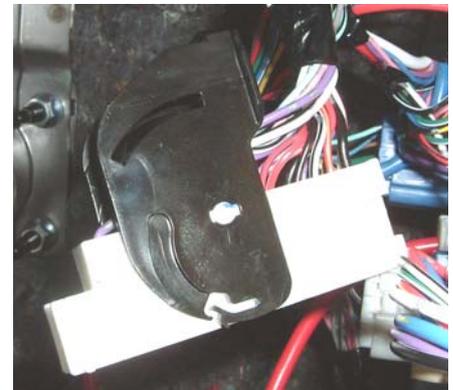
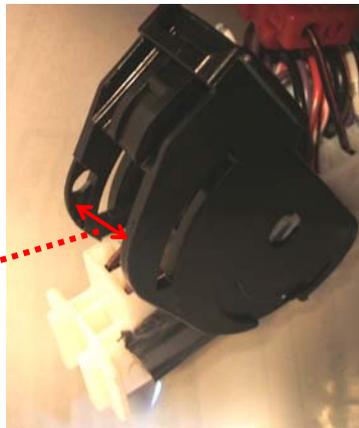
B. レバー部分をコネクタから外す

レバーの両側を広げてツメを外しながら、レバーを約90度まで起こします。



ツメ (左右両面に有ります)

左右に広げる
レバーの両側を広げてツメを外す。



約90度起きた状態

レバーを約90度まで起こしたら、レバーの側面(左右)にあるカギ穴とコネクタのツメを合わせ、コネクタからレバーを外します。

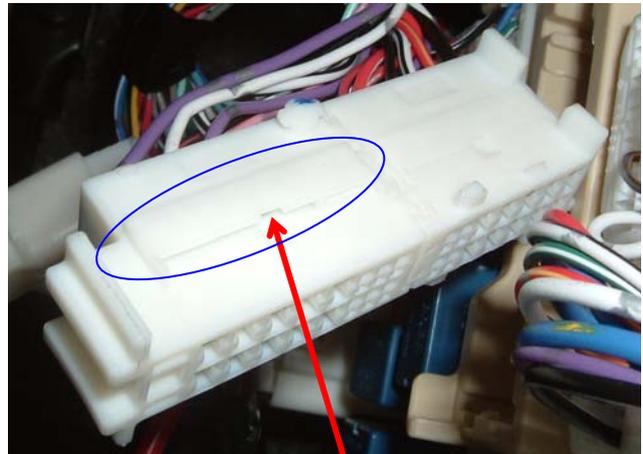


カギ穴

メーカー	スズキ	車体型式	HE22S
車種	アルトラパン	年式	H25.6~H27.6
専用ハーネス	S-118 & SIM-001		

C. コネクタのリテーナーを浮かす

コネクタ側面にあるリテーナーに先の細い精密ドライバなどを押し当て、リテーナーを浮かせます。
 (リテーナーを浮かせないとS-118の端子付き桃線がコネクタに差し込めません)



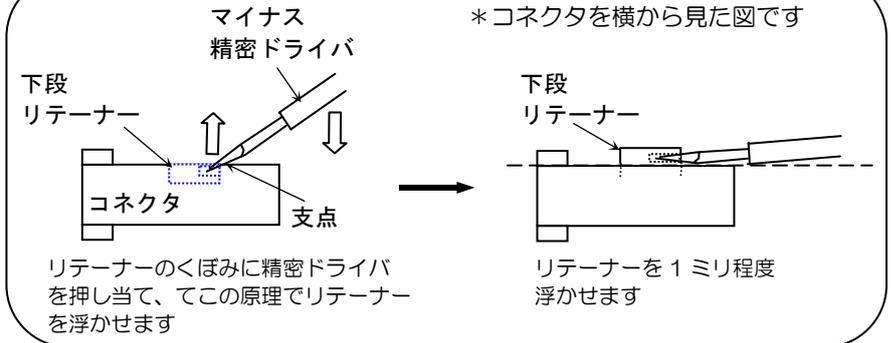
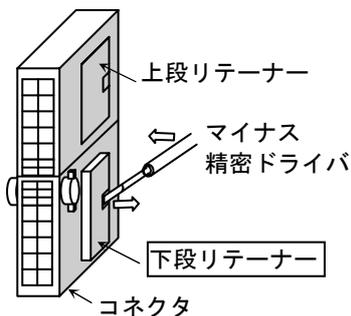
*青丸部分 下段リテーナー

<注意事項>

- ・無理に力を掛けしないでください。リテーナーが破損する可能性があります。
- ・リテーナーは本来、コネクタから外れません。コネクタから外れると元に戻りません。
- ・リテーナーを引っ張らないでください。

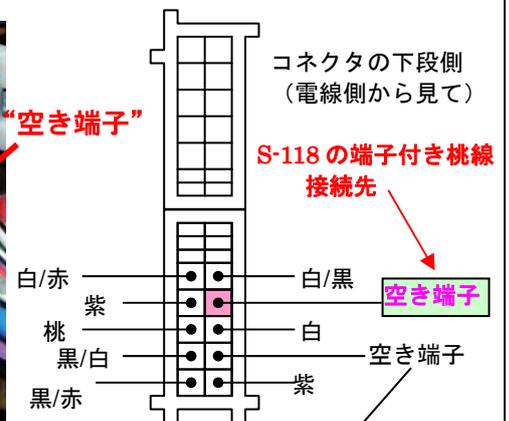
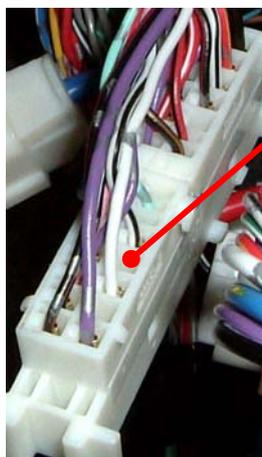
この部分に精密ドライバなど先の細いものを押し当て、てこの原理でリテーナーを浮かせます。(1ミリ程度浮くようにします)

リテーナーの浮かせ方(てこの原理を使用した方法)



D. S-118の端子付き桃線をコネクタに接続する

右の写真(空き端子)の場所にS-118の端子付き桃線を差し込みます。
 (端子付き桃線についている保護チューブを取り外してから差し込んでください)



S-118 端子付き桃線の接続

- ・端子位置、周りの配線色を確認し、確実に作業を行ってください。
- ・端子の向きが合っていないとコネクタに挿入できません。
- ・「カチッ」と音がするまで差し込みます。差し込んだ後、軽く引っ張り抜けないことを確認してください。

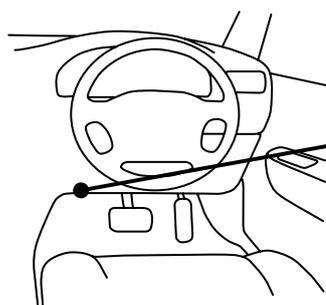
車輛装備品により配線の有無が異なる
 空き端子になっている場合、
 間違えないようご注意ください

メーカー	スズキ	車体型式	HE22S
車種	アルト ラパン	年式	H25.6~H27.6
専用ハーネス	S-118 & SIM-001		

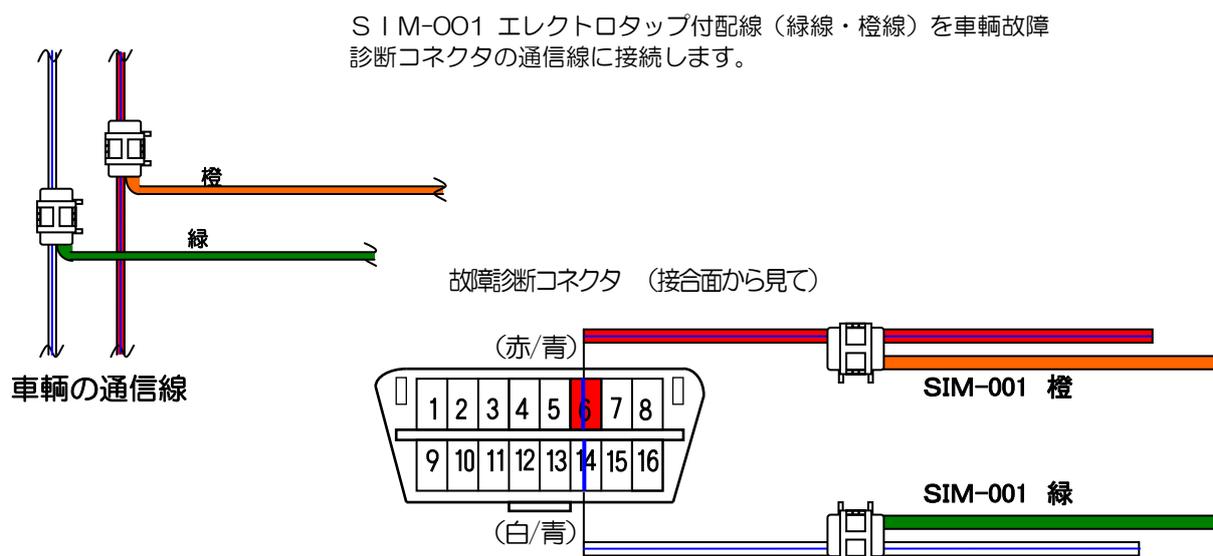
E. 外した手順と逆の手順で元に戻す

- ・リテーナーを元に戻します。(浮かせたリテーナーを押し込みます)
→リテーナーが元に戻らない場合、配線が奥まで差し込まれていません。
- ・コネクタにレバーを取り付けます。
→取り外した手順と逆の手順でレバーを取り付けます。
- ・コネクタをヒューズボックスに取り付けます。
→取り付け後、軽くコネクタを引っ張り確実に接続されていることを確認します。

SIM-001の接続



ステアリング左下に故障診断コネクタがあり、故障診断コネクタの通信線にSIM-001の配線を接続します。



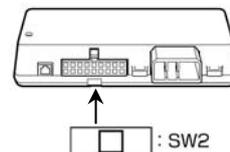
イモビ切替スイッチの切り替え、イモビ(ID)登録について

本機は、通電前にイモビ切替スイッチの切り替えを行い、通電後、P・ポジション検出とイモビ登録の順に操作を行います。
通電後にイモビ切替スイッチの切り替えを行った場合、正しくイモビ切替スイッチの認識ができないため、イモビの登録ができません。下記の順に操作を行ってください

イモビ切替スイッチの切り替え

ジャンクションユニットのイモビ切替スイッチを『2』に切り替えます。

必ずイモビ切替スイッチ切り替え後に、通電してください



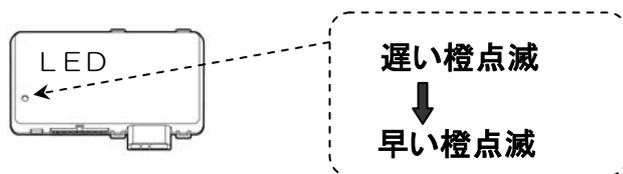
P・ポジションの検出

通電後、ジャンクションユニットから「PPP、PPP、PPP、…」と連続音が鳴ります。
連続音が鳴っている状態で、P・ポジション設定を行います。

(P・ポジション設定は、取付・接続説明書を参照いただき、操作を行ってください)

イモビ(ID)登録手順

- 1 LEDが橙点滅していることを確認し、プッシュスタートスイッチ操作でIG ONにします。
(電子キーを車輻に持ち込み、ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを2回押すとIG ONになります)



- 2 LEDが遅い橙点滅から速い橙点滅に変化したら、10秒以内にプッシュスタートスイッチ操作でOFFに戻します。
(ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを1回押すとOFFに戻ります)

*LEDが橙の速い点滅に変化後、10秒以上IG ONの状態が継続すると
LEDが赤点灯に変化しイモビIDの登録ができません。

(LEDが早い点滅に変化しない場合や赤点灯に変化した場合は、一度OFFに戻し、再度、手順 1 からやり直してください)

- 3 再度、プッシュスタートスイッチ操作でIG ONにします。
(ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを2回押すとIG ONになります)

LEDが速い橙点滅→消灯に変化します。



- 4 プッシュスタートスイッチ操作でOFFに戻します。
(ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを1回押すとIOFFに戻ります)

以上で登録作業は完了です。リモコン操作でエンジン始動の確認をしてください。